

| 証明書の種類 | 申請に必要なもの | 手数料 |
|---------------|--|-----------|
| 市・県民税課税(所得)証明 | 代理人の場合は原則として委任状などの同意書が必要です(同居の親族であれば必要ありません)。・印鑑 | 1件につき300円 |
| 納税証明 | ・印鑑(代理人の場合は原則として委任状必要) | |
| 所在証明 | ・印鑑 | |
| 車検用軽自動車税納税証明 | ・印鑑 | 無料 |

市・県民税課税(所得)証明
納税証明が必要な方は、本人が印鑑と手数料を持参のうえ市民税課に申し出てください。代理人による申請は、本人が自署、押印した委任の旨を証明する文書(委任状など)と代理人の印鑑が必要です。

市・県民税課税

←本人が市民税課へ申し出

証明書等の発行について



えびな環境
フォーラム

ニコルさんの世界へ

3月14日(日) 文化会館で開催

●アーティストの森からのメッセージを伝える 講演会
講師のC.W.ニコルさん

地球温暖化に代表される環境問題は私たちの生命に直接影響する深刻で重大な問題です。こ

の問題を解決するためには、私たち一人ひとりが環境を自らの問題として何をしていくべきかを考え、できることから行動していくことが大切です。

市では、えびな環境市民会議と協力し、子どもから大人まで幅広く環境について気づき、考

えていたたこうと「えびな環境フォーラム」を実施しています。

今年は、イギリス生まれで長野県在住の作家、C.W.ニコルさん

を招き「人と自然との共生」

●子どもたちの環境活動研究発表も

今回のフォーラムでは、講演会のほかに市内の小中学校や市民のみなさんが取り組んだ環境学習や活動の成果を発表する研究発表を同時に開催します。総合的学習の時間等で児童生徒が活動など、さまざまな取り組みが発表されます。明日を担う子

入場 無料(全席自由)※会場

問 同課(内52)

一緒に考えよう!「人と自然との共生」

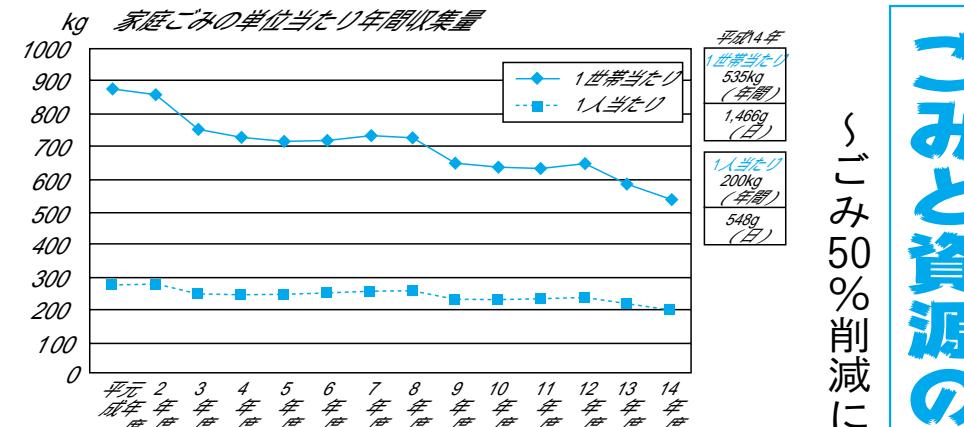
生をテーマに、自然とのかかわりの中で人間が生きるということはどういうことなのか、自らの体験を通して「アーティストの森からのメッセージ」を伝える講演会を行います。ぜひ、ご参加ください。

「環境の世紀」と言われる21世紀。豊かさを求める私たちの生活は便利になりましたが、一方では自然破壊が進み異常気象

で、私たちの命の星である地球そのものの環境は危機的状態にあります。私たちは自然の中に生きていることを忘れないで生きる世紀です。日本の自然を愛するニコルさんと一緒に、森や川、あるさと海老名、地球そして私たちのことについて考えてみませんか。

問 教育総務課(内657)

市・県民税課税(所得)証明
納税証明が必要な方は、本人が印鑑と手数料を持参のうえ市民税課に申し出てください。代理人による申請は、本人が自署、押印した委任の旨を証明する文書(委任状など)と代理人の印鑑が必要です。



生ごみ処理が最重要

「ごみ50%削減に向けて」

ごみと資源の話

(10)

みなさんの家庭から出される大量のごみ。市では、ごみと資源の収集計画を策定するための基礎データとするため、毎年家庭から出されるごみの組成分析調査を実施しています。

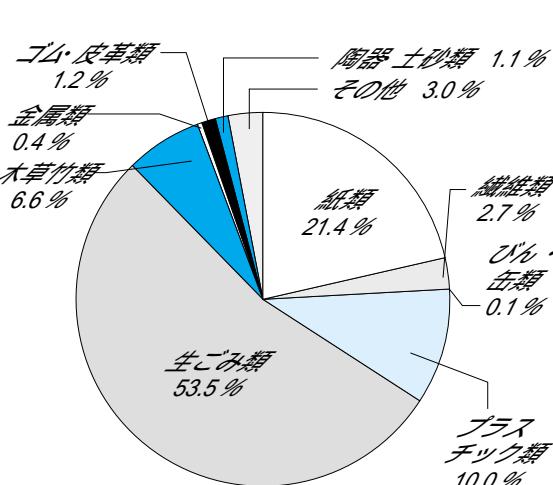
平成14年度の重量比分析では、回収が開始され、生ごみの比率が40%、紙類が24%、プラスチック類が11%で、比べてみると14年度の生ごみの比率が

燃えるごみとして出されたものうち、53%が生ごみで、紙類が21%、プラスチック類が10%という結果でした。12年度では、生ごみが40%、紙類が24%、プラスチック類が11%で、比べても消滅してしまい、菌を入れる手間も半年に一回程度で簡単に生ごみを処理できる。燃えるごみの収集は週1回でもいいですね。

②「マンションのベランダに置ける処理機を使用しているが、生ごみを投入すると翌日にはほとんど消滅している。たいへん便利でいい肥料が出ないので、手間がかかるない。一人ひとりが生ごみをなるべく出さない努力をするべきだと思います」。

①「市役所のロビーで実演している消滅型の処理機を使用していますが、毎日生ごみを投入しても消滅してしまい、菌を入れる手間も半年に一回程度で簡単に生ごみを処理できる。燃えるごみの収集は週1回でもいいですね」。

削減」の目標に向け、生ごみはどのように処理していくかが最も重要な課題になります。市では、一人ひとりが「ごみを出さない、使える物はリサイクル」を心がければ、ごみは確実に減つてきます。50%削減にみんなで協力をお願いします。



出さない努力へ 消滅型処理機も評判

①「市役所のロビーで実演している消滅型の処理機を使用していますが、毎日生ごみを投入しても消滅してしまい、菌を入れる手間も半年に一回程度で簡単に生ごみを処理できる。燃えるごみの収集は週1回でもいいですね」。

②「マンションのベランダに置ける処理機を使用しているが、生ごみを投入すると翌日にはほとんど消滅している。たいへん便利でいい肥料が出ないので、手間がかかるない。一人ひとりが生ごみをなるべく出さない努力をするべきだと思います」。

市は、下水道事業の円滑な運営を図るために、下水道運営審議会を設置し、市長の諮問に応じて調査審議を行っていますが、今回その審議委員を募集します。▽資格 市内在住20歳以上の公共下水道を使用しているか3年以内に接続を義務づけられた方で、年2回程度の会議(平日)に出席できる方(公務員など)へは、電車やバス等、公共交通機関をご利用ください。

削減」の目標に向け、生ごみはどのように処理していくかが最も重要な課題になります。市では、一人ひとりが「ごみを出さない、使える物はリサイクル」を心がければ、ごみは確実に減つてきます。50%削減にみんなで協力をお願いします。

問 資源対策課(内541)

教育委員に大島正儀氏を再任

円滑な下水道事業の運営を図るために審議会委員を募集

問 下水道業務課(内632)